

第31期

自己の教育観と向き合う
山口県ならではの冒険の旅へ



山口県野外教育活動指導者研修会

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成のために



第Ⅰ期

2026年

7月25日(土) ~ 8月2日(日)

OBS(アウトワード・バウンド・スクール)の
手法を活用したプログラム体験
【8泊9日】



第Ⅱ期

2027年

やまぐちアドベンチャー
キャンプ期間中

班付きスタッフとして、子どもたちへの
指導実習
【2泊3日以上】

場所

十種ヶ峰青少年自然の家
及びその周辺山域
【山口市阿東】(※現地集合・解散)

対象

教職員、行政職員
青少年教育関係者等 10人
(※応募多数の場合は抽選となります)

お問い合わせは下記までご連絡ください

山口県教育庁地域連携教育推進課

Tel: 083-933-4650

Fax: 083-933-4669

E-mail: a50400@pref.yamaguchi.lg.jp

山口ならではの自然体験活動推進事業



主催：山口県教育委員会

共催：(公財)山口県ひとづくり財団(十種ヶ峰青少年自然の家)

後援：山口市教育委員会

心ふるえる感動と本音で語り合える かけがえのない仲間との出会いがあなたを待っています！

研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ●OBS（アウトワード・バウンド・スクール）及びAFPY概論及び指導法 ●個人とグループの成長を支える人間関係づくりの組み立て方 ●リスクマネジメント等
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・バックパッキング（荷物を背負っての山歩き） ・サイクリング ・ロッククライミング ・ソロ（1人になる環境で思考する活動）等
参加費	16,000円 ※旅費（交通費や食費等）を地域連携教育推進課よりお支払いします。参加者の 実質負担はありません。
申込み	別紙申込様式により、所属長の推薦書を提出（市町教委への提出締切：6/4、地域連携教育推進課への提出締切：6/9）

山口県教育委員会では、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」の一環として、世界的な冒険教育機関であるOBS（アウトワード・バウンド・スクール）の手法を活用したプログラム「心の冒険・サマースクール」を平成5年より30年間実施してきました。令和5年から「やまぐちアドベンチャーキャンプ」として新たな展開で実施しています。

OBSの手法を取り入れたこのプログラムを体験した子どもたちは、毎年、多くの学びを手に入れてきました。

このOBSの手法や研修成果を学校等で活用してみたい方、また「やまぐちアドベンチャーキャンプ」の指導者になりたい方、「山口県野外教育活動指導者研修会」に参加してみませんか。



これまで、230人以上の方が参加され、現在、学校、県・市・町教委、社会教育施設等で力を発揮されながら、アドベンチャーキャンプやAFPYの指導者としても活躍されています。

①把握する力

個人やグループの成長のために、その日の会話や動作、感情や思考など、グループ内で実際に「見えた、聞こえた、感じた」こと等をもとにした話し合いを毎日行います。そのため、指導者として子どもの心を把握する力が高まります。心の声の引き出し方等、きっと新たな学びにつながります。

②判断する力

大自然が舞台のため、天候や周りの環境等を常に意識して活動を行います。活動する上で個人やグループの「的確な目標や達成のための方策」「解決しなければならぬ課題」などを話し合いにより決定していきます。そのため、様々な状況下で適切に判断する力が高まります。

③挑戦する力

自信がないことは、ついためらってしまうものです。しかし、信頼できる仲間の支えがあれば困難にもチャレンジできます。「一歩踏み出す」ことを言葉でなく、実際の体験として積み重ねていくことができます。そのため、仲間の信頼と支えのもとに、挑戦する力が高まります。

短期の指導研修
希望者にピッタリ！

山口県野外教育活動アシスタント研修会

研修内容	やまぐちアドベンチャーキャンプ(7/25～8/1)のスタッフとして、参加児童生徒の班について指導実習を行う（初日から2泊3日以上）。	活動例	上記（指導者研修会の活動例）の一部。
		定員	5人程度
参加費	泊数に応じた実費（食費、消耗品等） ※旅費を支給しますので、 <u>実質的な負担はありません。</u>	申込み	別紙申込様式により、所属長の推薦書を提出（市町教委への提出締切：6/4、地域連携教育推進課への提出締切：6/9）